

株式会社 キャンディきっず

保育士就職・復職支援からの子育て家庭雇用促進事業【支援団体 ひまわり信用金庫】

事業課題

認可外保育園に対する保護者の不安払拭

当社は、認可保育園「たねまき保育園（地域型保育小規模保育 A 型）」と認可外保育園「託児所キャンディきっず」を並行して運営しています。

待機児童問題はいわき市のみならず全国での問題であると考えております。そのような中で、「認可外保育園」の存在意義は避けて通る事ができないのですが、地域の保護者にとって、認可外保育園に対する考えと言うものは、『不安』『トラブルが多い』『保育士がない』といった思いがあります。

それゆえに、突発的な一時保育の需要はありますが、継続的な利用者を獲得できず、年間を通して繁忙期、閑散期の差が激しくなっています。

認可外保育園への潜在需要が多いため、安心の PR をし、品質の高い保育サービスの理解を促すことが当社の課題となっています。



課題解決方法

認可外保育施設移設周知と保育特色の PR

今までは、自宅に認可外保育園、自宅敷地内に認可保育園を併設し運営していました。どちらもクオリティの高い保育サービスを提供するため、地元湯本温泉旅館内に認可外保育施設『キャンディきっず』を設置し、一時保育専用施設として運営していきます。全国的にも認知度が高い湯本温泉のブランドにより、定期的に利用する保護者が増加してきたところで、「月ぎめ保育サービス」も展開していきます。

他社との差別化を図るため、「木の玩具を利用したぬくもりのある木育（もくいく）」「良質な絵本の読み聞かせ」を取り入れ、認可保育園と同等の保育サービスを提供することにより、「認可外保育園」の不安を払拭することが狙いとなっています。

定期的なイベント開催により、「木育広場」を幅広い年齢層の保護者に訴求していき、地域住民、子育て中の父母、孫育て中の祖父母に「認可外保育園でも保育士が室の高い保育サービスをしてくれる」ということを認識して頂きただけで認可外保育園の重要性の理解を促すことにつながっていきます。



補助事業の成果

認可保育園と認可外保育園の併設による相乗効果

ポイント①：体験型木育イベントで親子交流

地域交流認可外保育施設を自宅から地元温泉旅館への移設周知と木育という保育の特色 PR をすることで、地域の方々へ施設の存在を訴求することができました。また、「木育」といういわきでは新しい保育サービスも徐々に浸透してきました。

ポイント②：施設拡充のため潜在保育士雇用

木育という革新的なサービスに共感していただいた有資格者（保育士）の専業主婦 2 名を新たに雇用することができました。微力ながら、「地域人材、潜在保育士の雇用創出」に貢献することができています。

平成 30 年 10 月には法人成りをすることができ、株式会社を設立いたしました。



今後の展望



当社の経営理念である「お母さんの笑顔は子どもの笑顔！安心と信頼を届ける保育サービス」を継続するために、必要な場所で必要な人に必要な保育サービスが届く社会づくりをしていきます。

特に平成 31 年 4 月から施行される「働き方改革」に基づく、「人材：潜在保育士&OG 人材の活用」、「子育て世代の雇用促進」を念頭に置き、子育てしやすい環境づくりを常に進化させ、地域で選ばれる保育園となり、安定した運営ができる、という好循環のビジネスモデルの展開をしていくことができると考えております。

【本補助金採択を受けて】

環境の変化(時代の背景)に適応し、地域の事業計画に寄り添って自身の事業を見つめなおすことで閉鎖的で固定された世界ではなく、アンテナを高くし、外部環境に合わせ事業内容をコントロールしていかないと存続も成長もできないと感じました。

【経営理念】

『人と人、人とモノのぬくもりを感じ、すくすくのびのび元気な子』

『お母さんの笑顔は子どもの笑顔』

認可外保育園「託児所キャンディきっず」として、親の収入やライフスタイルにかかわらず、一時保育、月ぎめ保育等、フレキシブルな保育サービスを提供している。預かる時間も柔軟に対応できています。現在約 300 名の児童が登録しています。

認可保育園「たねまき保育園」は、「木育を通して、種から木のように育てていきたい」という思いをこめて、木をふんだんに使った園舎となっています。

いわき市の基準に則り、利用定員、開所時間を定めて、保育サービスを提供しています。

認可、認可外ともに、当社の独自保育サービス「木のおもちゃを取り入れた木育」を通じた子育て支援を行っております。

